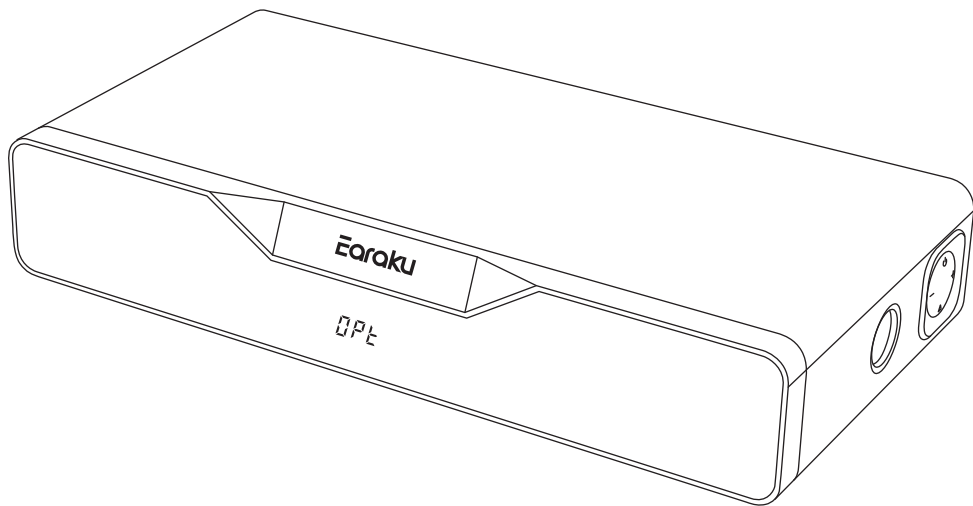


Soundbar サウンドバー J212

取扱説明書



この度は、Earaku製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を正しく安全にお使いいただくため、本書をよくお読みください。

使用前に必ず「安全上の注意」をお読みください。

この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見るできるよう大切に保管してください。

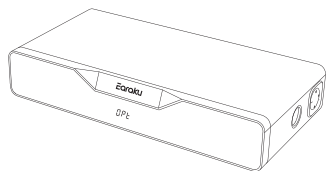
目次

本機のお手入れのしかた	2
安全のために	3
警告表示の意味	4
安全のために	5
使用上の注意事項	11
リモコンボタンについて	13
本体につきましては	14
リモコンの操作について	16
本体ボタンの操作方法	17
ディスプレイ表示は	18
テレビとの接続方法	19
HDMIケーブルでの接続	19
光回線ケーブルでの接続	20
AUX音声ケーブルでの接続	21
USBディスクでの接続	22
Bluetooth機器を機器登録(ペアリング)して音楽を聞く	23
商品仕様	24
アフターサービス	25
保証書	26

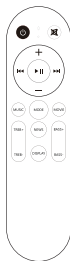
本機のお手入れのしかた

- ファブリック(布)部分に付着したほこりや汚れは、柔らかい布などを使用し軽い力で取り除いてください。
- 爪などを使って汚れを引っ掻いたり、過度の力を加えると、布部を傷める恐れがあります。
- クリーニングブラシなどは材質によっては布部を傷める場合がありますので、使用しないでください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いた後に、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 中性以外の洗剤やクリーナーを使用しますと、色落ちや生地傷みの原因となる場合があります。
- キャビネットは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。
- 研磨パッド、クレンザー、アルコールやベンジンなどの溶剤は使わないでください。

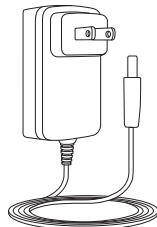
梱包パッケージ



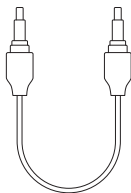
サウンドバー本体×1



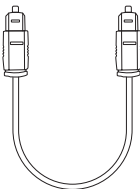
リモコン×1



ACアダプター×1
約1.5m※PSE認証済



3.5mmAUX音声出力ケーブル×1
約1m



光デジタルケーブル×1
約1.5m



取扱説明書×1



単4乾電池×2

安全のために



警告

安全のために

製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本機や電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐに弊社サポート窓口(support@earaku.com)またはお買い上げ店に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- 1.電源を切る
- 2.電源プラグをコンセントから抜く
- 3.ご購入先の相談窓口またはお買い上げ店に相談する

安全のために

警告表示の意味

本書および製品では、次のような表示をしています。

表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

 **警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

 **注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止



ぬれて禁止

行為を禁止する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

安全のために



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。



禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。



分解禁止

本機を開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

→内部の点検や修理は、弊社サポート窓口またはお買い上げ店にご依頼ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。

→万一、水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、弊社サポート窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。



指示

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

電源コンセントに手が届かない場合は、本機のAC入力端子から電源コードを抜いてください。

通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

安全のために



禁止

自然放熱を妨げない

本機に布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。自然放熱の妨げになり、過熱による変形や火災・感電の原因になることがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・ 設置時、本機と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
 - ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
 - ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
 - ・ 熱器具に近づけない。加熱しない。
 - ・ 移動させるときは、電源コードを抜く。
 - ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- ➡万一、電源コードが傷んだら、弊社サポート窓口またはお買い上げ店に交換をご依頼ください。



禁止

本機を日本国外で使わない

100V~240Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。



注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



ぬれて禁止

設置上のご注意

本機の角でけがをしないようにお気をつけください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。



禁止

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

➡呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞くことをおすすめします。

安全のために



禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本機が落下してけがの原因となることがあります。
また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。



禁止

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは足にひっかけると本機の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。十分に注意して接続、配置してください。



プラグをコンセントから抜く

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



禁止

付属の電源コードについて

付属の電源コードは、本製品専用です。他の電気機器では使用できません。



禁止

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気による火災の原因となることがあります。
どの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

安全のために



禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本機が落下してけがの原因となることがあります。
また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。



禁止

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

医療機器に近づけない

本製品は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。

本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。

これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。



禁止

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

無線機器の身体密着に関するご注意

本機と接続する携帯電話や無線機器の身体への装着に関して、詳しくは接続する機器の取扱説明書をご確認ください。

温度上昇について

使用中に本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

遠隔操作について

スマートフォンによる以下の遠隔操作は、本体が見える位置からのみ操作を行ってください。

- 再生／停止／一時停止
- 消音
- 曲送り／曲戻し
- 音量の調整

安全のために

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱によるけがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



危険



接触禁止

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。
液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることもあります。



指示

必ず次の処理をする

- ➔ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、
ただちに医師の治療を受けてください。
- ➔ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。
皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



警告



禁止

電池は乳幼児の手の届く所に置かない

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

- ➔ 万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。



禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない、
火のそばや直射日光のあたるところなど高温の場所で使用・保管・放置しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがやけどの原因となることがあります。

電池が液漏れしたり、異臭がする時にはただちに火気より遠ざけてください。

安全のために



禁止

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。



指示

+と-の向きを正しく入れる

+と-を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



指示

使い切ったときや、長期間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

使用上の注意事項

無線の周波数について

本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。
他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

2.4 GHz機器使用上の注意事項

本製品は2.4 GHz帯を使用します。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ご購入先の相談窓口またはお買い上げ店までお問い合わせください。

使用上のご注意

電源コードについて

- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。
- 長時間使用しない場合はコンセントから電源コードを抜いてください。電源コードをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源コードが傷んだ場合は、弊社サポート窓口またはお買い上げ店に交換をご依頼ください。

取り扱いについて

- 暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、ほこりの多いところ、激しい振動のあるところには本機を置かないでください。故障の原因になる場合があります。
- 平らな場所に設置してください。傾いた場所に設置すると、本機自体の振動により転倒・落下し、けがや故障・性能劣化の原因になることがあります。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている床に本機を置くと、床に変色、染みなどが残る場合があります。
- 本機のスピーカーは、防磁型ではありません。本機の上や近くに磁気を利用したカード類は置かないでください。
- 本機の周りにテレビ以外の金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。

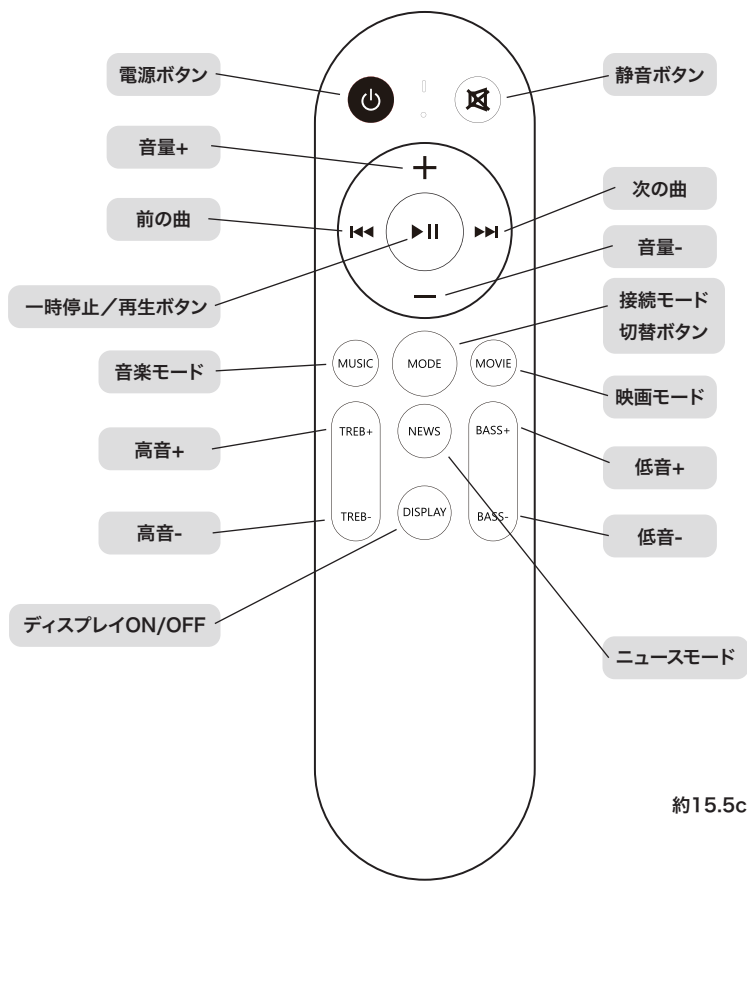
Bluetooth®通信について

- 本機と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。
-病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く

廃棄についてのご注意

- 本機を廃棄する際は、お住まいの地域の法令および自治体のルールに従って適切に処分してください。

リモコンボタンについて



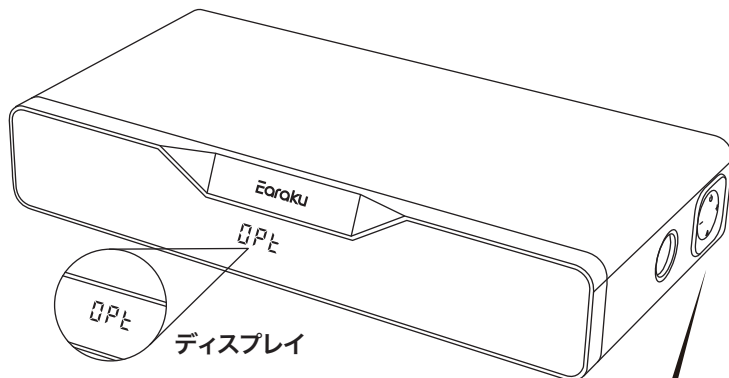
約15.5cm

0.8cm

4cm

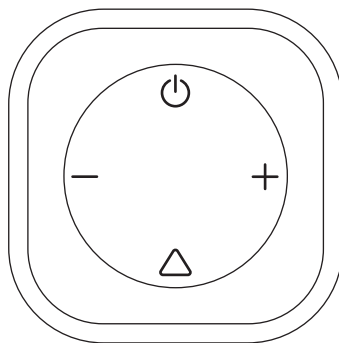
本体につきましては

正面



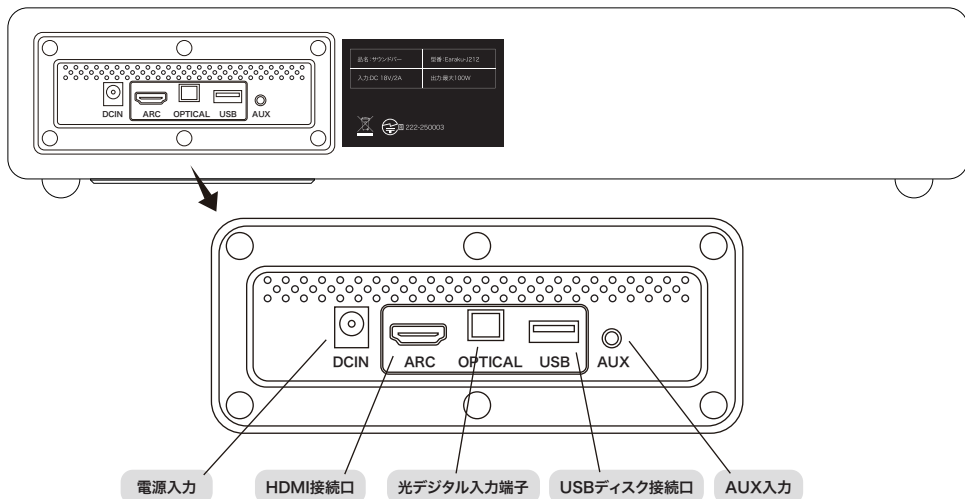
側面

-  電源ボタン
-  音量-
-  音量+
-  一時停止/再生ボタン

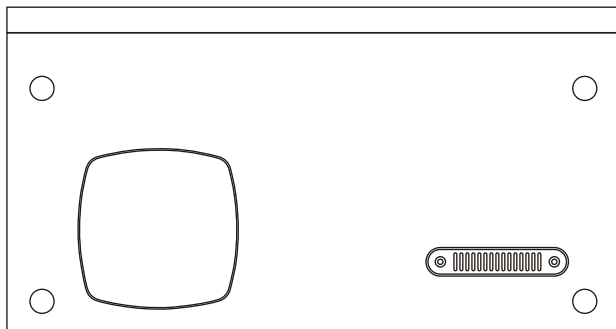


本体につきましては

裏面



底部



リモコンの操作について

※ディスプレイ表示は15秒点灯すると、自動的に消灯する

ボタン	操作方法	ディスプレイの表示
	短く押すと、電源オンにする。	b t O P t A F C A U H
	短く押すと、電源オフにする。	--
	音楽再生時、短く押すと、静音にする。	b t が点滅する
	音楽停止時、短く押すと、音楽再生する。	b t が点灯する
+	ボタンを短く押すと音量が1段階上がります。	00-100 まで変化する
	長押しすると連続で音量が上がります。	
-	ボタンを短く押すと音量が1段階下がります。	
	長押しすると連続で音量下がります。	
	音楽再生時、短く押すと、曲送ります。	無し
	音楽再生時、短く押すと、曲戻ります。	無し
	音楽再生時、短く押すと、一時停止／再生する。	無し
	電源入れた後、短く押すとディスプレイ表示は消灯する	無し 消灯前の表示に戻る
	任意モード消灯の状態で、短く押すとディスプレイ表示は戻ります。	
	電源入れた後、短く押すと接続モードを切り替えられます。	b t O P t A F C A U H
	音声再生時、短く押すと、映画モードに切り替わります。	E 9 2
	音声再生時、短く押すと、音楽モードに切り替わります。	E 9 1
	音声再生時、短く押すと、ニュースモードに変換します。	E 9 3
	「TREB+」ボタンを短く押すと、高音が1段階上がります。	t 0 ~ 5 まで変化する
	「TREB-」ボタンを短く押すと、高音が1段階下がります。	t 0 ~ -5 まで変化する

リモコンボタンの操作について

ボタン	操作方法	ディスプレイの表示
	「BASS+」ボタンを短く押すと、低音が1段階上がります。	ト 0 ~ 5 まで変化する
	「BASS-」ボタンを短く押すと、低音が1段階下がります。	ト 0 ~ -5 まで変化する

※Bluetooth/USBモードのみ、リモコンで一時停止／再生／次の曲／前の曲はコントロールできます。
その以外の接続モードにすると無効化にする。

本体ボタンの操作方法

本体ボタンの操作方法		
	電源ボタンを短押すと、電源入れます。	bt OPT ARC AUX
	電源ボタンを5秒以上長押しして、電源切ります。	--
	電源入れた後、短押すと、接続モードを切替えます。	bt OPT ARC AUX
	音楽再生する時、短押すと、一時停止／再生します。	無し
	長押しして、ペアリングリセットします。	点滅し、ARC表示する。
	ボタンを短く押すと音量が1度上がる、	00-100 まで変化する
	長押しすると連続で音量が上昇します。	
	ボタンを短く押すと音量が1度下がる、	
	長押しすると連続で音量が下がります。	

※本体では次の曲／前の曲にはコントロールできません。

ディスプレイ表示は

ARC	HDMIモード	E9 1	音楽モード
Opt	光デジタルモード	E9 2	映画モード
USB	USBディスクモード	E9 3	ニュースモード
bt	Bluetoothモード	t 0	高音値
AUX	AUXモード	b 0	低音値

※ディスプレイ表示は15秒点灯すると、自動的に消灯する
※USBディスクを挿入すると、「USB」と表示されます。

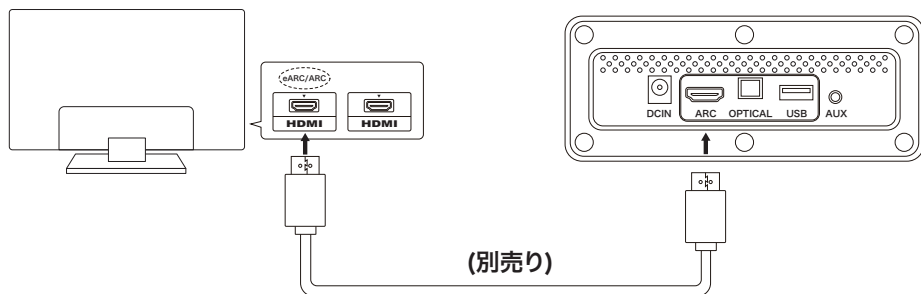
使用上の注意

- 本機はDolby Atmosには対応できません。
- HDMI ARCモードには映像を視聴することは対応できません。

テレビとの接続方法

HDMIケーブルでの接続

- ①コネクタはコンセントの奥までしっかり差してください。
- ②テレビのHDMI ARC対応HDMI出力端子と本機のHDMI入力(HDMI ARC)端子をHDMIケーブル(別売り)でつなぐ。
- ③本機の電源を入れる。
- ④HDMIモード『HDMI ARC』に設定する



- ⑤テレビの音声を本機から出力できるように、テレビの設定を変更する。

お使いのテレビによっては、本機の接続時に自動で設定される場合があります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

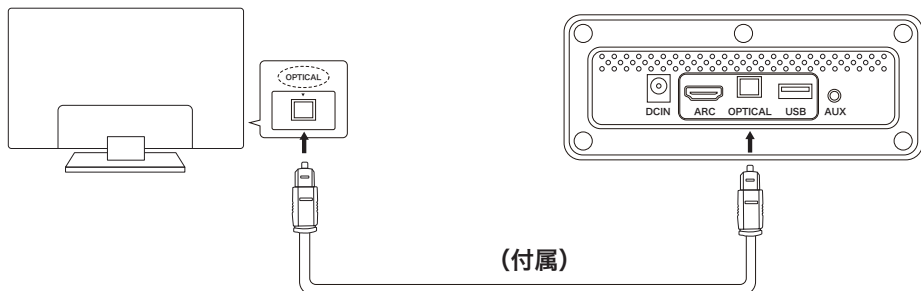
ご注意

- コネクタは奥までしっかり差してください。
- 本機をテレビのHDMI ARC対応のHDMI入力につながないと、テレビの音声を本機から再生することができません。
- テレビのHDMI機器制御機能を有効に設定してください。テレビのHDMI機器制御機能を有効にしないと、本機からテレビの音声出力されません。テレビのHDMI ARC機能を有効にすることで、システム音や音声応答が出ないなど、テレビの一部動作が制限される場合があります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- HDMIケーブルで接続の場合、リモコンで「次の曲／前の曲／一時停止／再生」をコントロールできません。

テレビとの接続方法

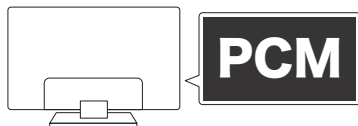
光回線ケーブルでの接続

- ①コネクタはコンセントの奥までしっかり差ししてください。
- ②テレビの光デジタル出力端子(OPTICAL)と本機の光デジタル(OPTICAL)入力端子を光デジタルケーブル(付属)でつなぐ。
- ③本機の電源を入れる。
- ④光デジタルモード『PCM』に設定する



- ⑤テレビの音声を本機から出力できるように、テレビの設定を変更する。

お使いのテレビによっては、本機の接続時に自動で設定される場合があります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。



PCMの設定方法について詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください、テレビのデジタル音声出力がPCM以外に設定されていると、映画やスポーツ中継番組などで、正しく音が出されないことがあります。

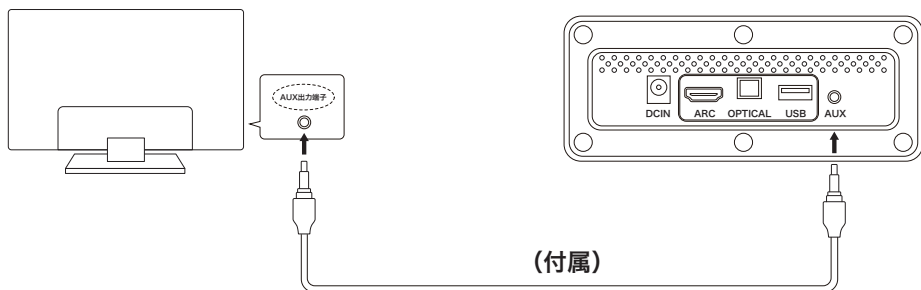
ご注意

- コネクタは奥までしっかり差ししてください。
- 光回線データ転送技術の原理によって、テレビと本体は同時に音声出力には対応できません。
- 本機に付属の光回線ケーブルはTOSLINK(角型)の標準品です。円型の光デジタルジャックに合わない可能性があります。
- 光デジタルケーブルで接続の場合、リモコンで「次の曲／前の曲／一時停止／再生」をコントロールできません。
- 光デジタルケーブルは折り畳みしないでください。通信できなくなります。

テレビとの接続方法

AUX音声ケーブルでの接続

- ①コネクタはコンセントの奥までしっかり差ししてください。
- ②テレビのAUX出力端子(AUX)と本機のAUX入力端子(AUX)をAUX音声ケーブル(付属)でつなぐ。
- ③本機の電源を入れる。
- ④AUXモード『R U H』に設定する



- ⑤テレビの音声を本機から出力できるように、テレビの設定を変更する。

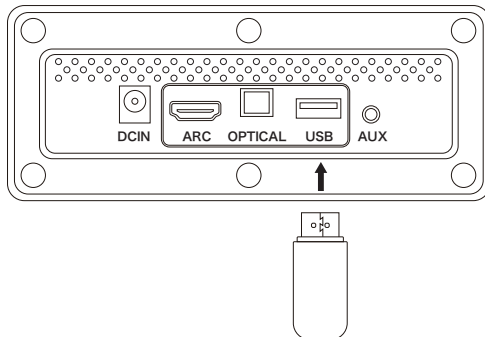
お使いのテレビによっては、本機の接続時に自動で設定される場合があります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- コネクタは奥までしっかり差しください。
- 本機とテレビの両方で音声出力する設定はお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
参考:『設定』→『音声設定』→『音声出力設定』→『ヘッドホン/音声設定』
- AUX音声ケーブルで接続の場合、リモコンで「次の曲／前の曲／一時停止／再生」をコントロールできません。

USBディスクでの接続

- ①コネクターはコンセントの奥までしっかり差してください。
- ②本機の電源を入れる。
- ③USBディスク(Aタイプ)を本機のUSBポートに挿入する。
- ④USBモード『u5b』を表示する。



ご注意

- 最大64GBまで対応、対応可能プロファイル:MP3、WMA、WAV、APE、FLAC。
- FAT32を推奨します。

Bluetooth機器を機器登録(ペアリング)して音楽を聞く

Bluetooth機能を使うには、あらかじめ本機でBluetooth機器をペアリングする必要があります。

ペアリングとは、機器同士を互いにあらかじめ登録することです。

- ①コネクターはコンセントの奥までしっかり差してください。
- ②本機の電源を入れる。
- ③本機はBluetoothモード『 ㇏ 』に設定する
- ④デバイス側のBluetooth機能をオンに設定する。

- ⑤検索画面に表示された機器の一覧に「Earaku J212」を選択し、本機とペアリングします。



- ⑥ペアリング完了の場合、「Connected」の音声ガイダンスが流れます。

ご注意

- ペアリングに失敗する場合は、Bluetooth機器で以下の操作をお試しください。
- ペア設定リクエストを許可する。
- Bluetooth機器のペアリング済み機器が上限数に達している場合は、不要な機器を削除する。
- 本機を初期化したときは、Bluetooth機器から本機のペアリング情報を削除して、もう一度ペアリングを行う。
- 本機は2台同時ペアリングには対応できません。

商品仕様

商品型番	Earaku J212
商品名	サウンドバー(Soundbar)
電源	DC18V/2A
Bluetooth	V5.4
技適認証番号	R222-250003
通信距離	約10m(障害物がない場合)
周波数帯	2.4GHz - 2.480GHz
対応プロファイル	A2DP/AVCTP/SPP/AVRCP
対応コーデック	SBC/AAC
対応モード	AUX/OPTICAL/HDMI ARC/USB/BT
高音スピーカー	25W×2 (寸法:45 × 100 mm)
低音スピーカー	50W×1 (直径寸法:13.3cm)
抵抗値	4Ω
製品材質	木製、ABS樹脂
本体重量	約3.15Kg
リモコンサイズ	約15.5×4×0.8cm
本体サイズ	約41×20×8cm(フット含む)
パッケージ内容	本体×1、リモコン×1、単4乾電池×2、ACアダプター×1、AUX音声ケーブル×1、 光回線ケーブル×1、取扱説明書×1

アフターサービス

何か問題がある場合、QRコードをスキャンして、お問い合わせ内容をご記入ください。

初期不良が発生した場合は、迅速に交換など対応いたします

Email: support@earaku.com

営業時間: 平日10:00~18:00(土日祝日、年末年始を除く)





持込修理

保証書

本保証書は、お買い上げ日から下記の期間内に故障が発生した場合、保証内容に基づき無償修理を行うことを約束するものです。状況により、無償で新品と交換させていただく場合もございます。ご記入いただいた個人情報は、弊社のアフターサービス専用に使いたします。

品番	Earaku J212
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
お 買 い 上 げ 日	年 月 日
お 客 様 情 報	ご住所 _____
	氏名 _____ 様
	電話番号 () -
販 売 店 情 報	住所・販売店名 _____
	電話番号 () -